

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市大崎むつみの里
(2)施設概要	<p>①所在地 緑区大崎37-1</p> <p>②施設の設置目的 障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、障害者及び障害児の福祉の増進を図る。</p> <p>③施設の概要 事業指定年月 【第1事業所】平成19年4月 【第2事業所】平成18年10月 敷地面積 5,272.00㎡ 延床面積 4,355.96㎡ 構造 第1事業所:鉄筋コンクリート造 4階建 鉄筋コンクリート造 平屋建 第2事業所:鉄筋コンクリート造 平屋建</p> <p>事業内容 【第1事業所】生活介護事業(定員70人) 自立訓練(機能訓練)事業(定員10人) 自立訓練(生活訓練)事業(定員10人) 就労移行支援事業(定員15人) 就労継続支援事業B型(定員55人) 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援) 【第2事業所】児童発達支援事業(定員30人) 保育所等訪問支援事業 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和2年度226,268千円、令和3年度226,268千円、 令和4年度228,578千円</p>

<p>(5)施設の管理運営の内容</p>	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p><生活介護事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数11,464人(前年度12,866人) ・稼働率67.1%(前年度75.6%) <p><自立訓練(機能)事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数1,254人(前年度1,458人) ・稼働率51.6%(前年度61.3%) <p><自立訓練(生活)事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数980人(前年度1,188人) ・稼働率40.2%(前年度49.7%) <p><就労移行支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 117人(前年度581人) ・稼働率3.2%(前年度15.9%) <p><就労継続支援事業B型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数8,973人(前年度9,334人) ・稼働率66.9%(前年度69.8%) <p><児童発達支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数5,104人(前年度4,896人) ・稼働率72.4%(前年度70.3%) <p><保育所等訪問支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 31人(前年度30人) <p><相談支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 274人(前年度285人) <p>業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練(年2回) ・むつみ祭 ・健康診断(就労事業のみ)等 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物設備保守管理業務(日常管理業務、空調排気設備、消防設備点検、昇降機設備点検、その他の設備、防火対象物定期点検) ・清掃業務(床・カーペット清掃、硝子清掃、害虫駆除、樹木消毒等) ・自家用電気工作物保安管理業務(需要設備点検、発電設備点検、高圧盤清掃) ・施設警備業務 ・浴槽水質検査業務(レジオネラ菌検査) 																																	
<p>(6)収支状況</p>	<p>①収入</p> <table border="0"> <tr> <td>・指定管理料</td> <td>228,578千円</td> <td>(前年度226,268千円)</td> </tr> <tr> <td>・障害福祉サービス等事業収入</td> <td>291,642千円</td> <td>(前年度311,240千円)</td> </tr> <tr> <td>・就労支援事業収入</td> <td>4,169千円</td> <td>(前年度 4,050千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>55,521千円</td> <td>(前年度 21,899千円)</td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0"> <tr> <td>・人件費</td> <td>416,165千円</td> <td>(前年度 418,997千円)</td> </tr> <tr> <td>・事務費</td> <td>11,521千円</td> <td>(前年度 11,663千円)</td> </tr> <tr> <td>・施設管理費</td> <td>78,243千円</td> <td>(前年度 68,124千円)</td> </tr> <tr> <td>・事業費</td> <td>15,096千円</td> <td>(前年度 16,348千円)</td> </tr> <tr> <td>・繰入金支出</td> <td>34,241千円</td> <td>(前年度 34,241千円)</td> </tr> <tr> <td>・就労支援事業支出</td> <td>4,169千円</td> <td>(前年度 4,050千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>6,487千円</td> <td>(前年度 10,034千円)</td> </tr> </table>	・指定管理料	228,578千円	(前年度226,268千円)	・障害福祉サービス等事業収入	291,642千円	(前年度311,240千円)	・就労支援事業収入	4,169千円	(前年度 4,050千円)	・その他	55,521千円	(前年度 21,899千円)	・人件費	416,165千円	(前年度 418,997千円)	・事務費	11,521千円	(前年度 11,663千円)	・施設管理費	78,243千円	(前年度 68,124千円)	・事業費	15,096千円	(前年度 16,348千円)	・繰入金支出	34,241千円	(前年度 34,241千円)	・就労支援事業支出	4,169千円	(前年度 4,050千円)	・その他	6,487千円	(前年度 10,034千円)
・指定管理料	228,578千円	(前年度226,268千円)																																
・障害福祉サービス等事業収入	291,642千円	(前年度311,240千円)																																
・就労支援事業収入	4,169千円	(前年度 4,050千円)																																
・その他	55,521千円	(前年度 21,899千円)																																
・人件費	416,165千円	(前年度 418,997千円)																																
・事務費	11,521千円	(前年度 11,663千円)																																
・施設管理費	78,243千円	(前年度 68,124千円)																																
・事業費	15,096千円	(前年度 16,348千円)																																
・繰入金支出	34,241千円	(前年度 34,241千円)																																
・就労支援事業支出	4,169千円	(前年度 4,050千円)																																
・その他	6,487千円	(前年度 10,034千円)																																

<p>(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>苦情解決制度に加え、「みなさまの声」による投書の受付や年1回実施する「利用者アンケート」にて利用者からの意見を伺う取組を行った。</p> <p>生活介護事業:令和4年度は、利用者向けアンケート・家族向けアンケートを合せて、71回答をいただき、すべてのご意見に対し回答を掲示した。また、送迎の乗車場所について利用者ご家族からご意見をいただき、より利便性の高い送迎とするため、乗車場所の見直しを行った。</p> <p>自立訓練事業:機能訓練事業では、送迎サービスの利用者ニーズに応えられるよう車両の変更や運用体制を整備し、年間延べ453件、週の平均で8.7件の送迎を実施した。生活訓練事業では、利用者アンケートより調理訓練や社会体験活動への要望が多くみられ、調理訓練は年間10回実施した。また社会体験活動は利用者も企画参加し内容を充実させた。</p> <p>就労移行・就労継続支援B型支援事業:利用者、職員とコミュニケーションを今よりも図る事、作業以外の楽しい時間を増やして欲しい等の意見があった。感染対策に気を配りながら可能な限り昼食時間を食堂で共に過ごし、作業以外の会話の機会を増やした。また、職員による軽音楽の提供も作業の合間に試みた。</p> <p>児童発達支援事業:今年度もコロナ禍でゾーニングを実施しながら進めていたため、部屋が足りない、手狭であるなど部屋の使い方に対してご意見をいただいた。天候が良い時はなるべく、戸外での活動も多く取り入れ工夫をした。職員の配置人数についても、もう少し手厚くしてほしいというご要望をいただいたので、さらに職員のチームワークを強化して支援に当たるように努めた。</p>
<p>(8)その他</p>	<p>特になし</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス向上のための具体的提案 ・利用率向上のための具体的提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行・就労継続支援B型事業では、要望や意見を気軽に伺える様、職員用の事務所入口を休憩時に開放し、利用者の出入りをオープン化した。また、連絡帳記載内容の充実と強化を図り、家族にも事業の内容、利用者の様子を理解していただくように努めた。 ・むつみの里内の他事業所に専門職連携として理学療法士がおもむき利用者を評価する取組を実施した。 ・特別支援学校や地域包括支援センターへの広報活動を行った。 ・小児医療センターやダウン症親の会に出向き、情報共有を行い、連携を強化した。
<ul style="list-style-type: none"> ・経費の縮減をするための提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内整備や修繕等、可能な限り職員自らの手でメンテナンスを実施した。 ・むつみの里広報誌の印刷を業務委託契約をやめて、直接プリント会社に発注することで経費を削減できた。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修の実施など資質向上の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で研修機会も限られてしまったが、極力、受講機会を得た職員による研修報告の場を設け、全員での共有に努めた。 ・障害者アート支援において今年度はじめて外部講師による研修を実施し、職員の意識を高めた。 ・第2事業所では、職員内部研修を、さいたま市幼児政策課の幼児教育アドバイザー派遣事業に依頼し、講師を招いて子どもの発達について学んだ。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

コロナ禍により、地域交流の機会の減少やボランティアの活用等に消極的にならざるをえない状況下で、可能な条件を模索し続けた。

就労移行・就労継続支援B型支援事業では外部の力を頼らずに個々の職員の自主的な発想で利用者のリラクゼーションを図る時間を持たせた。

広報活動先として地域包括支援センターと高次脳機能障害者支援における地域連携の機会が増え、自立訓練事業の利用につながった。

職員の相互連携の下、利用者サービスの改善と向上を図った。

送迎のあり方も含めて、前年度の職員の業務負担の軽減にも取り組んだ。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価 **(B)** ※A~D

昨年度同様、新型コロナウイルスの影響で制約が残る中、利用者への支援や関係機関との連携、職場研修など数多くの取組みを実施した。一例として、第1事業所では、利用者や家族アンケートで要望のあった送迎について、車両の変更や運用体制の見直しにより、サービスの改善を図った。

第2事業所では、職場内研修に外部講師を招いて子どもの発達について学ぶ機会を作るなど、研修内容の工夫を行った。

以上のことを踏まえ、総合評価を「B」とした。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。